

世界競歩チーム選手権 2018 太倉 (中国)

個人表彰台を独占!

団体

金

競歩日本チームが初の

荒井優勝 勝木2位 丸尾選手3位 (愛知製鋼)



写真 / Agence SHOT

IAAF WORLD RACE WALKING TEAM CHAMPIONSHIPS

50 KILOMETERS RACE WALK MEN

荒井広宙 3等陸尉

東京へ向けて 2016五輪 リオ 銅 2017世界陸上 ロンドン 銀 2018世界競歩 太倉 金

太倉市 (中国) で行われた第 28 回世界競歩チーム選手権に陸上班から男子は荒井広宙 3等陸尉、勝木隼人 3等陸曹、女子は道口愛 2等空曹、河添香織 2等陸曹の 4名が出場した。

2014 年までは「ワールドカップ競歩」という名で開催

されていた「世界競歩チーム選手権」は、1961 年から行われている競歩の国際大会で、2年に1回開催され、今大会は中国 (太倉市) で行われた。各国最大 5名の選手がエントリーでき、上位 3名の成績で団体戦を戦う。また本大会は 8月のジャカルタ 2018 アジア競技会 50km 競技の日本代表選手選考を兼ねた大会だ。

5日に行われた男子 50km 競技に出場した荒井 3尉は、レース序盤から先頭でレースを引っ張り、3時間 44分 25秒でゴール。今大会初の優勝を手にした。一昨年のリオ五輪で銅メダル、昨年の世界陸上で銀メダルの荒井 3尉が東京オリンピックへ向け更に一歩前進した。

レース後、荒井 3尉は「個人でも団体でも目標を達成することができて良かった。日本チームとしての総合力の強さを世界にアピールできた。大事なレースで確実に勝つことで自信にもつながったと思う。この安定して勝てる強さを来年の世界選手権、翌年の東京オリンピックへつなげていきたい。」と語った。

勝木が怒濤の追い上げで2位

レース序盤、先頭から遅れること約 20 秒で 6 番手をキープしていた勝木 3曹は、30km 地点でペースを上げ前へ出た。45km 地点では先頭を歩く荒井 3尉に追いつき 2位に上がると、そのまま 3時間 44分 31秒でゴール。3位の丸尾選手 (愛知製鋼) に 21 秒の差を付け逃げ切った。個人で表彰台を独占した日本チームが今大会初の団体戦優勝の栄冠を手にした。

レース後、勝木 3曹は「しっかり自分の力を出すことができた。レース終盤で荒井さんに追いついたが、余力は間違いなく荒井さんの方があつた。」とするも手応えのあるレースだったと語った。

女子 20km 競技に参加した道口 2曹は 1時間 33分 42秒で 34位、河添 2曹は 1時間 37分 13秒で 63位、女子日本チーム団体戦は 7位に終わった。



写真 / Agence SHOT



写真 / Agence SHOT

序盤から先頭でレースを制した荒井 (左) と 2位でゴールの勝木 (右)

Record 記録	
<b>男子 50km 競技</b>	
団体戦	優勝 日本 準優勝 ウクライナ 第3位 ポーランド
個人戦	優勝 荒井 広宙 (長野県出身) 3時間 44分 25秒 準優勝 勝木 隼人 (福岡県出身) 3時間 44分 31秒 第3位 丸尾 知司選手 (愛知製鋼) 3時間 44分 52秒
<b>女子 20km 競技</b>	
団体戦	優勝 中国 準優勝 イタリア 第3位 スペイン 第7位 日本
個人戦	34位 道口 愛 (千葉県出身) 1時間 33分 42秒 63位 河添 香織 (京都府出身) 1時間 37分 13秒

